

井川自然の家等の活用について



井川牧場からの景色



地図データ ©2024 20 km

アクセス

JR静岡駅～車で1時間30分 新東名新静岡IC～車で1時間20分 東京ヘリポートからヘリで60分圏内





井川自然の家



井川自然の家職員住宅



リバウエル井川



井川牧場

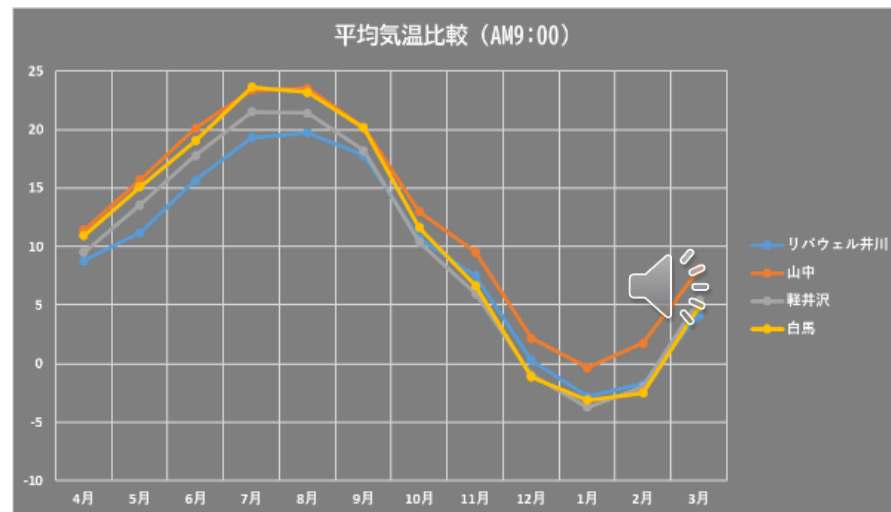


3

井川牧場・リバウエル井川スキー場 概要



標高 1,430m
アクセス 新静岡ICから約42km(約1時間20分)
夏季天候 平均気温19.0℃(7~9月 AM9:00)
 晴天日数46日(7~9月 92日中)
利用可能面積 リバウエル井川スキー場 約16ha
 井川牧場 約5.5ha
貸付料 295円/㎡・年(参考)
その他 令和8年度から新たな活用開始予定

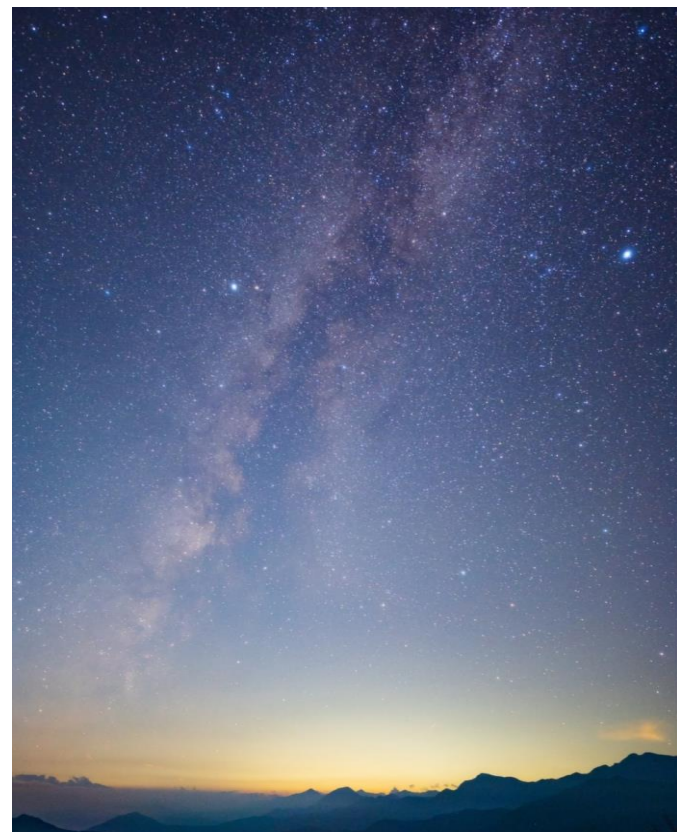


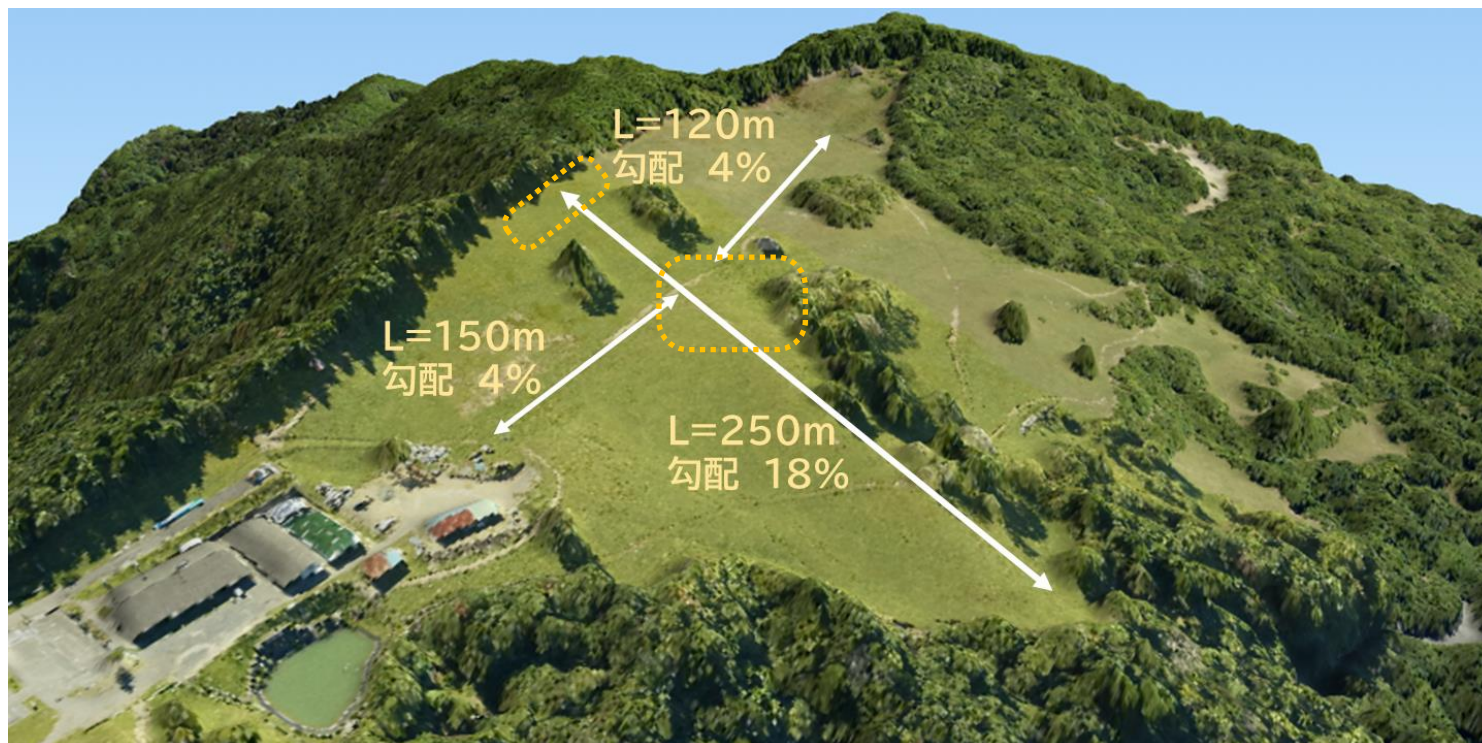
4

リバウエル井川スキー場

所在地 葵区井川2629-190
開設 平成2年1月31日(1990年)

面積 敷地163,037㎡ レストハウス延床998.65㎡
耐震 I a 利用者数 12,000人/年





比較的
平坦な場所



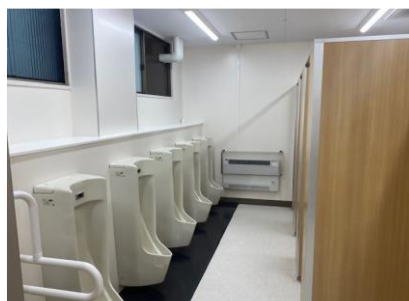
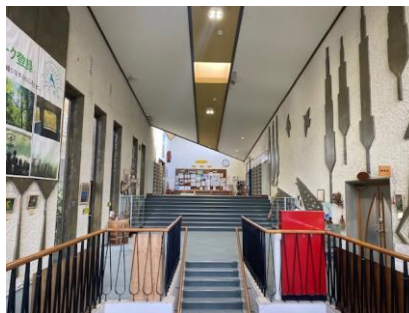
6 | 井川自然の家

所在地 葵区井川3055-1
開設 昭和51年4月1日(1976年)築48年
面積 土地91,542㎡ 延床5,526㎡
耐震 I b
建物 **利用者数** 約7,000人(令和5年度)
宿泊棟 宿泊室26部屋(個室・大部屋)
集会室、浴室(男女各1)、食堂(320席)、体育館、テントサイト(5サイト・炊事棟)他



井川自然の家職員住宅

開設 2002年 築23年
耐震 I b
部屋数 6部屋(バストイレ付)



A-1 井川

南アルプス赤石温泉「白樺荘」

南アルプス登山の定番温泉です。泉質は単純硫黄泉で、大浴場のほか露天風呂、多目的浴室もあります。宿泊室は2人部屋(7室)と4人部屋(3室)があります。



リバウエル井川～
車で約70分

B-1 井川

南アルプス井川オートキャンプ場

井川ダム最上流部の湖畔に位置するオートキャンプ場です。テントサイトは41区画あり、炊飯室、水洗トイレ、温泉風呂、有料ランドリー、有料温水シャワーがあります。



リバウエル井川～
車で約60分

B-2 井川

口坂本温泉浴場

清らかな溪流と山々に囲まれた落ち着いた雰囲気温泉です。ナトリウム炭酸水素塩温泉のお湯は独特の肌触りで、一度入るとファンになると間違いなしです。



リバウエル井川～
車で約30分



ハイキングコースあり！
秋には燃えるような紅葉
を楽しめます！

リバウエル井川スキー場・井川牧場

B-2 井川

南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家

新静岡ICから車で1時間、標高約1,000mに位置し、豊かな自然環境を活かした活動プログラムも楽しめる社会教育施設です。令和2年度から特別室(5人部屋)を4部屋設け、ご家族・個人での利用も可能となりました。



リバウエル井川～
車で約15分

昔からその地域で守り育てられてきた昔ながらの野菜や作物を「在来作物」と言います。在来作物は、地域の伝統行事や食文化と密接な関係を持つ「地域の宝」です。

豊かな自然に恵まれ、古い歴史を持つ葵区の山間地では、多くの在来作物が残されています。

現在、わかっているだけで、その数は100種類以上。1つの地域だけでこんなにたくさんの在来作物が残っているのは、とても珍しいことです。

在来作物は、収量も少なく、形も不揃いなことから、今ではほとんど栽培されていません。しかし、品種改良された現在の作物にはない風味を持ち、味が深いのが特徴です。

最近では、静岡市の中山間地域「オクシズ」で守られてきた幻の食材が、街なかの「おまち」の飲食店やレストランの間で注目されています。

出典:南プスホームページ



井川大蒜

小粒で赤い在来ニンニクです。肉質がしっかりしていて、粘りが強いのが特徴です。地元ではすりおろして鹿肉と合わせたり、にんにく味噌を作って食べます。昔は焼畑でも栽培したそうです。井川での呼び名である「おおびる」は、平安時代の書物にも記されるニンニクの古い言い方です。



井川にら

にらは中華料理のイメージが強いですが、古事記にも記されている古い野菜です。静岡県の山間地には数系統の在来のにらが残っていますが「井川にら」もその1つです。小ぶりですが、生で食べられるほど甘み強いのが特徴です。



ダレキビ

モチ種のキビです。井川では、穂が垂れ下がっている様子からダレキビあるいはタレキビと呼ばれています。実が黄色いものと白いものがあり、黄色い品種はご飯に混ぜると色鮮やかで、味だけでなく目も楽しませてくれます。そのほか、井川の人々が今も好んで食べるのは、きな粉をまぶしたキビのぼたもちです。



井川なす

井川で古くから食べられていたナスです。絶滅していたと思われていましたが、井川から街へお嫁に行った方の家庭菜園で作り続けられていました。大きくなればなるほど、おいしくなると言われているナスです。



地這いキュウリ

一般にキュウリは支柱を立てて育てますが、このキュウリは古くから地面を這わせて育てます。昔は水筒代わりに腰にぶら下げていったと言われるほど、水分たっぷりのキュウリです。地元では、味噌汁の具などにします。緑色のものや黄色いものなど、いくつかの種類があります。



井川黒がら

古くから栽培される在来の里芋。井川の里芋は「黒がら」「赤がら」「青がら」など多くの種類があります。黒がらは柔らかく、青がらはホクホクした食感が特徴です。「がら」というのは、芋の茎の「芋がら（ずいき）」の意味で、黒がらは、茎が黒紫色をしています。

井川地域は、豊かな自然環境や南アルプスを望む抜群の景色
地域独自の在来作物など、多くの魅力があります。

今後、旧井川小学校を活用した南アルプス井川ミュージアムの
オープンも予定しています。

資産の活用に向け、ぜひ多くのご意見をいただきたいです！
よろしくお願いします。

特にご意見をいただきたい内容

★エリアでの一体的な活用の可能性

★参画の可能性が高まる事業スキームや募集の条件 等

【お問い合わせ先】

静岡市役所 社会共有資産利活用推進課 資産活用推進室 

☎:054-221-1167

✉:asset-suishin@city.shizuoka.lg.jp